

令和3年度  
自己点検・自己評価 報告書

学校法人阪和学園  
錦秀会看護専門学校

## 1. 教育理念・目的・目標

### 1) 学校の教育理念・目的・目標の設定

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1)教育理念は明文化している。	○		
(2)学校独自の教育理念を持っている。	○		
(3)教育理念・目的・目標は人材育成の内容と一致している。	○		

### 2) 教育理念・目的・目標の達成

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(4)教職員は教育理念・目的・目標を認識し、共有している。		○	
(5)教職員は教育理念・目的・目標に向けて努力している。		○	
(6)教育理念・目的・目標は学生に浸透している。	○		

### 3) 教育理念・目的・目標の点検、見直し

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(7)教育理念・目的・目標と教育課程の考え方が一貫している。	○		
(8)社会変化、ニーズに対応して見直している。		○	
(9)教育理念・目的・目標は年一回見直している。	○		

### 4) 学校の将来構想の明確化

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(10)学校の将来構想は示されている。	○		
(11)学校の将来構想について組織的に取り組む体制が整えられている。	○		

## 「1. 教育理念・目的・目標」に対する概要と今後の課題

次年度から第1学科と准看護学科が新カリキュラム運営となる。理念については一貫しているが、教職員での目的・目標の共有に一部課題が残っている。教授内容などに、理念が反映されるような工夫が必要である。また、地域からの期待も大きいので答えられるように地域の変化・ニーズにも対応できるようにする。

## 2. 学生の受入れ

### 1) 学生募集の方法

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1)学校の教育理念・目的・目標を反映した学生募集方針を定めている。	○		
(2)入学定員を明示している。	○		
(3)総合型選抜・学校推薦型選抜・社会人選抜・一般選抜入試制度の有無は明記している。	○		
(4)社会人選抜入学制度を取り入れている。	○		

## 2) 入学者選抜方法

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(5)入学者選抜の方法は明示している。	○		
(6)合格基準は明確にしている。	○		
(7)転入学の方法・基準を明文化している。	○		

## 3) 学生募集の広報

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(8)学生募集要項を作成し、看護の情報を提供している。	○		
(9)志願者が関心を持つように工夫されている。	○		

## 4) 学生定員の質・量的充実状況

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(10)在學生は定員の95%以上を満たしている。		○	
(11)入学試験の応募状況は定員の1.5倍以上である。		○	
(12)合格者からの入学率は90%以上である。		○	
(13)学校推薦型選抜入試の在學生は定員の60%以内である。	○		

## 5) 学生募集に関する分析・評価体制

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(14)広報委員会が定期的開催されている。		○	
(15)志願者・合格者・入学者などの推移とその評価がなされている。		○	
(16)多様な選抜方法と学生の状況について検討している。		○	

## 「2. 学生の受入れ」に対する概要と今後の課題

学校推薦・公募推薦を含む入学試験では、南河内地区からの応募も多い。卒業生や在校生からの宣伝効果もあり集まっていることが考えられる。今後も、質の高い学ぶ意欲がある学生が入学するように継続していく。

## 3. 学生生活への支援

### 1) 健康管理

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1)定期的に健康診断を実施している。	○		
(2)学生が日常生活の健康管理ができるよう指導している。	○		
(3)臨地実習での感染防止の対策をとっている。	○		
(4)健康記録は的確に記載し、活用している。	○		

## 2) 学生相談室、進路相談室の設置と対応

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(5) 学生相談の窓口を設けていることを学生に周知している。	○		
(6) 学生相談の内容によって担当を決めている。	○		
(7) プライバシーが保持されるシステムができている。		○	
(8) 学生相談の専任のカウンセラーを置いている。		○	

## 3) ボランティアの支援体制

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(9) ボランティア活動の支援体制ができている。		○	

## 4) 学生委員会活動への支援

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(10) 学生委員会活動で使用できる部屋がある。		○	
(11) 学生委員会活動が円滑にいくために助言・指導している。		○	
(12) 他学年と交流の機会をもっている。			○

(自己評価内容)

(12) 新型コロナウイルス感染症の影響で他学年との交流の機会ができていない。

## 5) 福利厚生

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(13) 奨学金制度について学生に周知している。	○		
(14) 学生寄宿舎を有し、管理責任者を置いている。	○		
(15) 学生は傷害保険に加入している。	○		

### 「3. 学生生活への支援」に対する概要と今後の課題

健康管理規定に基づき、健康管理ができるように指導している。2019年から続くコロナ禍により、学生たちの感染症予防についての意識も高まっている。今後も継続し、医療従事者としての意識を高めていく必要がある。

ハード面の制約があり、部屋数は限られている。コロナ禍が次年度も続くことを想定し、限られた環境でできることを実施していく。

## 4. 教育課程

### 1) カリキュラムの立案

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1) 教育理念・目標にあった科目設定をしている。	○		
(2) 教育科目設定には学校の特色を盛り込んでいる。	○		
(3) 科目設定には学習者・社会のニーズを考慮している。	○		
(4) 指定規則に合致した科目・単位を設定している。	○		

## 2) カリキュラムの効果的編成

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(5)教育理念・目標にあった順序性で配列している。		○	
(6)科目の位置づけと科目間の関連性を明示している。		○	
(7)臨地実習目標は明確で、効果的に計画されている。		○	

## 3) カリキュラムの点検・見直し

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(8)カリキュラムの見直しは、定期的（年1回）に行っている。	○		
(9)臨地実習の計画・指導は効果的であることを定期的に見直している。		○	
(10)カリキュラムの見直しは学生・講師の意見を定期的に反映している。		○	

## 「4. 学生生活への支援」に対する概要と今後の課題

令和4年度からの新カリキュラム運営に向けて、また看護第1学科第5期生が定員増になるため、これまでできていたことは踏襲し、さらに時代に即した教育をしていく。コロナ禍が令和4年度も継続することを想定し、どのような状況にあっても学びを止めない教育を実践していかなければならない。Zoom 授業や学内実習を取り入れるなどする。

## 5. 教育活動・教育指導のあり方

### 1) 学習支援（ガイダンス）

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1)年度初めにカリキュラムガイダンスを行っている。	○		
(2)学生便覧は内容・構成が工夫して作成され、学生が活用している。		○	
(3)シラバスが作成され活用について学生に説明している。	○		

### 2) 授業の計画的遂行・調整

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(4)授業計画に基づいて授業は実施している。		○	
(5)時間割の進度は、授業計画通りに行われている。		○	
(6)科目毎の授業内容を整理し、担当者へ周知している。		○	
(7)必要に応じてオンラインでの授業が行われている。	○		

### 3) 授業科目の担当および時間

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(8)科目を担当する教員（専任・非常勤）は専門分野についての専門家が担当している。	○		
(9)教員一人当たりの週授業時間数は15時間以内である。	○		
(10)教員の実習担当時間数は3時間ごとに1時間程度の準備時間が見込まれている。		○	
(11)教員間の講義・実習担当時間の配分はほぼ均等である。			○

(自己評価内容)

(11) 均等でない。(課程により授業時間が異なることが要因である)

#### 4) 教育の工夫・研究

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(12)授業内容は精選され、学生のレディネスに沿って構成されている。		○	
(13)学生が自主的に考え、学習することが可能な授業形態が導入されている。		○	
(14)視聴覚教育機器・教材の質と量は十分で、効果的に活用されている。		○	
(15)効果的な教育方法について、検討の場を持っている。		○	
(16)教育において日常的に教材研究を行っている。		○	

#### 5) 授業評価

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(17)教員は授業終了時に、学生による評価を実施している。	○		
(18)学生による評価は評価表を作成し行っている。	○		
(19)教員自身による自己評価を実施している。		○	

#### 6) 単位互換

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(20)大学・短大・専修学校への単位互換が可能な科目設定・時間設定である。	○		
(21)大学(短大)卒の入学生に単位の認定制をとっている。	○		

#### 7) 成績評価・単位認定

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(22)評価の方法は試験・出席・学習状況・レポートにより行われている。	○		
(23)授業科目毎に評価者と単位認定を明示している。	○		
(24)追試験・再試験・単位未修得者の評価基準を明確にしている。	○		
(25)進級・進度の基準を明示している。	○		
(26)履修認定会議・卒業判定会議は定期的を開催している。	○		

### 「5. 教育活動・教育指導のあり方」に対する概要と今後の課題

講義・実習時間の配分に偏りがある。来年度は第1学科の学生定員が80名に倍増されることに比べ、第2学科は募集停止により1年生のクラスはいない。また、第2学科と准看護学科が定員割れしていることで、科によって学生1人当たりの教員負担率に偏重がある。協力体制の構築が期待される。

## 6. 実習指導体制

### 1) 実習施設の要件

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1)実習施設は実習場としての施設設備が整っている(カンファレンス、更衣室等)。	○		
(2)実習施設は実習に必要な図書が整備されている。		○	
(3)実習施設は基本的看護に必要な看護用具が整備されている。	○		
(4)実習施設は看護基準、看護手順を作成している。	○		
(5)1看護単位の実習生受入れは10名以内である。	○		

### 2) 実習場の開発

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(6)実習科目の目標・内容に見合った実習施設を確保している。	○		
(7)実習施設は実習目的を果たすため適切・妥当であるか定期的に見直している。	○		

### 3) 実習指導者の能力開発

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(8)実習指導者に対して現任教育を計画的に実施している。		○	
(9)実習指導者は自主的に研究会を実施している。		○	
(10)実習指導者は学生の看護ケアに適切にアドバイスできている。	○		
(11)実習指導者は看護実践の創意工夫に努める姿勢がある。	○		

### 4) 実習指導体制

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(12)実習要綱は各看護学毎に作成している。	○		
(13)実習指導者会議は定期的開催している。	○		
(14)実習指導体制が明確にされ、指導者は1看護単位に2名以上配置されている。	○		
(15)実習指導者は実習要綱を元に指導計画を立案・実施・評価している。	○		
(16)実習指導員と教員は、役割分担を明確にして指導している。	○		
(17)実習評価は実習指導責任者が作成している。	○		

## 「6. 実習指導体制」に対する概要と今後の課題

実習については、おおむねできている。しかし、コロナ禍にてほとんどが学内実習に切り替わるなどしたため、学生の学びに臨地実習との偏りがでないようにしなければならない。

実習については、本校の希望はあっても実習施設の意向に合わせなければならないことも多いので密に連携をとりながら実施していく。

## 7. 研究・研修活動

### 1) 教員の研究活動

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1)教員は専門領域の研究活動に取り組んでいる。		○	
(2)教員は研究活動の校外研修日を月1日以上、確保している。	○		
(3)教員は臨床ナースと連携や交流を図り臨床看護研究に取り組んでいる。			○

(自己評価内容)

- (3) R3年より、看護研究が始まったが現在、臨床とは看護研究について交流がとれていないため、今後、意見交換なども行っていきたい。

### 2) 研究成果の発表

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(4)教員は研究成果を過去2年以内に公表している。			○

(自己評価内容)

- (4) 研修の度にレポートを提出しているが、発表には至っていない。

### 3) 研修活動への積極的参加と教員の活動

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(5)教員は年1回以上、自主的に研修に参加している。	○		
(6)教員は、専門領域の臨地実習、研修を担当している。	○		
(7)教員が研修に参加できるようにシステム作りをしている。	○		
(8)教員は対外的に講師としての役割を果たし、活動している。	○		

「7. 研究・研修活動」に対する概要と今後の課題

個人での研修会参加は行われているが、臨床との合同研究などは行われていない。課題が合致する範囲で検討をすすめる。

## 8. 組織管理・運営

### 1) 学校の組織と関連組織の整備

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1)教員組織、事務組織は専任者が配置され、運営しやすい組織図ができている。	○		
(2)教員組織と事務組織は適正に連携している。	○		
(3)教員組織は運営に必要な人数と職種が配置されている。	○		
(4)事務組織は運営に必要な人数が配置されている。	○		
(5)各職員が命令系統に沿ってその役割を果たしている。		○	
(6)教員の人事について副学校長・学科長は意見を具申している。	○		
(7)教員の将来方針を把握し、助言している。	○		



## 2) 教師・実習者の要件

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(8) 講師の資格要件を取得できるようにしている。	○		
(9) 非常勤講師は資格要件をもとに選考している。	○		
(10) 実習指導者の資格要件を取得している。	○		

## 3) 教員人事の適正配置

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(11) 教員は看護学の専門領域毎に配置されている。	○		
(12) 副学校長は専任で配置されている。	○		
(13) 教務主任は専任で配置されている。	○		
(14) 実習調整者は専任で配置されている。	○		

## 4) 職員の職務分掌

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(15) 職務分掌は作成している。	○		
(16) 学校長は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	○		
(17) 副学校長は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	○		
(18) 事務長・事務長補佐は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	○		
(19) 教務主任・実習調整者は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	○		
(20) 教員は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	○		
(21) 事務員は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。	○		

## 5) 会議への参加運営

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(22) 副学校長は運営委員会に出席し、必要時意見を述べている。	○		
(23) 副学校長は学校運営会議に出席し、必要時意見を述べている。	○		
(24) 学校運営会議は定期的に開催している。	○		
(25) 教員・カリキュラム会議は定期的に開催している。	○		
(26) 講師会議は定期的に開催している。			○

(26) できていないが、アンケートを実施する。

## 6) 学籍の管理

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(27) 学籍簿は学籍の記録、履修状況が正確に記載され、証明機能を備えている。	○		
(28) 学籍簿は保管が適切になされ、秘密が守られている。	○		

## 「8. 組織管理・運営」に対する概要と今後の課題

指定規則に則った運営がなされており、問題はない。しかし、教職員はオーバーワーク気味なので、業務を適切に振り分けるなどして、無駄な業務を省く工夫が求められる。

## 9. 施設設備

### 1) 校舎の整備と管理

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1) クラス数に見合った普通教室を持っている。	○		
(2) 看護学別に演習できるような実習室の配置(物品等)がされている。	○		
(3) グループ討議等ができるゼミ室を有している。	○		
(4) WiFi 環境は整っている。	○		
(5) コンピュータ室を有している。	○		
(6) 専用の図書室を有している。	○		
(7) 体育館または講堂を有している。	○		
(8) 校内施設利用規程は作成している。	○		
(9) 施設利用規程には学生の自己学習に使用できるよう配置している。	○		

### 2) 学生支援施設の整備と管理

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(10) 専用の保健室がある。	○		
(11) 学生相談室が設置されている。		○	
(12) 自習室の整備ができている。		○	
(13) 学生用トイレ、更衣室がある。	○		
(14) 学生ホールは交流の場として活用している。	○		
(15) 学生ホールは整備され、憩いの場作りができている。	○		

### 3) 図書室の整備と管理

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(16) 図書室および資料は分野ごと、領域毎に分類され整理されている。	○		
(17) 蔵書数は学生数に見合った十分な冊数である。	○		
(18) 専門分野は専門領域毎に計画的に増補している。	○		
(19) 学術雑誌は指定基準以上の種類を有している。	○		
(20) 視聴覚機器が整備されている。	○		
(21) 図書と学術雑誌およびビデオ・DVD等の整備点検はできている。	○		
(22) 司書を配置している。			○
(23) 学生が利用しやすい時間帯に開室している。	○		
(24) 新刊図書の紹介をしている。	○		
(25) 必要な図書整備の予算計画ができている。	○		
(26) 文献検索のためのインターネットの設備がある。	○		

(自己評価内容)

(22) 図書室専従の職員が在籍し、通信教育にて司書の資格取得を予定している。

#### 4) 教材の整備と管理

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(27)教材教具は定期的に点検を行っている。	○		
(28)専門領域毎に教育内容に合った教材を増備している。	○		
(29)機械・器具、標本、模型は学生数に見合って十分な数を整備している。	○		
(30)ビデオ・DVD等、視聴覚教材は自己学習に使用できる。	○		
(31)教材購入の経費は年次毎に計画し増備している。	○		

#### 「9. 施設設備」に対する概要と今後の課題

施設の整備については開校時に概ね整っていたが、校内全域にWiFi網を構築した。新型コロナの感染対策でオンライン授業を積極的に取り入れるためと、全学生に電子テキスト導入することを想定して行ったものである。図書館司書については現在担当事務員を配置することで問題は発生していない。

### 10. 社会への貢献

#### 1) 地域社会との連携と社会への啓蒙

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1)看護教育および看護の情報を公開し、広報活動を行っている。	○		
(2)学校行事は地域社会を考慮して教育計画に位置づけている。		○	
(3)地域への働きかけは社会のニーズに応じた内容である。		○	

#### 2) 近隣関連施設との連携

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(4)近隣施設へのボランティア活動に積極的に参加している。			○
(5)社会人および近隣施設の生涯教育の場として学校を開放している。		○	
(6)近隣関連施設との情報交換および連携システムができている。		○	

(自己評価内容)

(4) 新型コロナウイルス感染症対策下のため、募金活動に変更し実施している。

#### 「10. 社会への貢献」に対する概要と今後の課題

広報委員会の活動を中心に、地域への貢献・連携を行っている。令和4年度からは地域看護学も新たに新設されるので、より一層の連携とカリキュラムへの反映が必要である。

### 11. 予算

#### 1) 事業計画

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1)教材購入の経費は年次毎に計画し増備している。	○		
(2)事業計画は学園の全体計画の中に適切に位置づけられている。	○		
(3)中・長期目標の執行計画が立てられている。		○	

## 2) 予算の執行

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(4)年間の予算計画・執行状況を把握し、必要時修正している。		○	
(5)職員は収支の状況を把握している。		○	

## 3) 経営意識

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(6) 職員全員が経営意識を持っている。		○	
(7) 職員は歳出削減に向けて努力している。		○	

### 「1 1. 予算」に対する概要と今後の課題

予算の立案については各委員会からの要望と、必要な物品の選定を行い限られた原資の中から適切に配分されるように行っている。また事業計画も教務、事務共に意見を交換して作成している。

予算の執行についても月次収支を報告しており、それによって職員に経営に関して意識づけを行っている。労働に関するコストの認識に若干の低さがあり、同一労働・同一賃金の観点から今後の課題といえる。

## 12. 学校評価

### 1) 自己点検・自己評価

評価対象項目	できている	一部できている	できていない
(1)学校自己点検・評価のシステムが作られている。	○		
(2)自己点検・評価に必要な基礎データ等の整備がなされている。	○		
(3)自己点検・評価を定期的実施している。	○		
(4)自己点検・評価の結果を公表している。	○		
(5)評価を次年度に活かしている		○	

### 「1 2. 自己点検・自己評価」に対する概要と今後の課題

各学科で自己点検・自己評価委員会を設けて、それぞれで評価できている。各学科で中間表・最終評価をおこなっている。

学校運営関係（概況書・会議録・養成所評価・入試等）教育課程関係（教育計画・時間割・シラバス・実習要項等）学年関係（日誌・出席簿等）その他（謝金・進学、就職等）それぞれの書類において、その都度担当者がデータを整えている。

評価規程に基づき前期・後期の2回自己点検・評価を実施している。自己点検・評価は、委員と各リーダーが中心となり実施している。

毎年、評価委員会及び学校ホームページでしている。授業・実習・生活における学生アンケートや学校評価も公表している

委員会で改善策を出し実施しているが、予算や施設面で解決できない課題もある。